

# 部活動などの表彰

## 《バレーボール部》

荒川区夏季総合体育大会 兼 選手権大会 **準優勝**  
バレーボール部女子



◀女子バレー部3年の皆さん  
左から〇〇〇〇さん(4組)、〇〇〇〇さん(2組)、〇〇〇〇さん(2組)、〇〇〇〇さん(4組)

## 《ソフトテニス部》

荒川区テニス夏季大会男子個人戦 **第3位**  
〇〇〇〇さん(3-3)・〇〇〇〇さん(3-4)ペア

**都大会出場権獲得**

左から〇〇さん、〇〇さん ▶



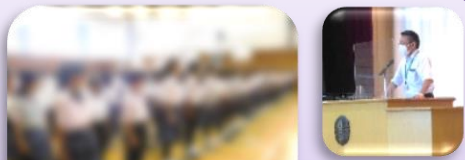
## 《陸上競技部》

第73回東京都中学校地域別陸上競技大会 東部 3年女子 100m  
**8位入賞**  
〇〇〇〇さん(3-2)



**3学年全員が揃い  
全校集会開かれる。**

6月27日(月)に、全校生徒がアリーナに揃い、全校集会が行われました。3学年全員が揃うのは感染症予防対策のため、実に3年ぶり。いつもより5分早い時間に遅れることなく登校し、全校生徒が整然と列をつくり待つ姿はたいへん立派でした。



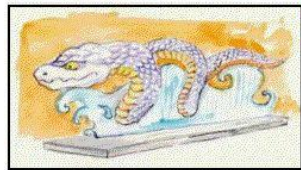
## 南千住マイスターのコーナー

「片目の大鯉鯉」、「千住大橋の大亀」の御輿に並んで、玄關ホールに鎮座しているのは「牧の野の大蛇」です。今号では、この大蛇にまつわる「南千住の妖怪伝説」を紹介します。

その昔、千住宿にはたくさんの旅籠(はたご)がありました。その一軒に「お牧さん」というとても器量の良い女中がいました。ある日、川越夜船の船頭がこの旅籠に泊まりました。船頭はお牧さんの訛りをきいて自分と同郷だとわかり話がはずみました。何度か船頭が訪ねるたびにお牧さんもいつしか好意を抱くようになり、二人は結婚を誓います。

しかし、お牧さんは田舎の実家の借金を返すためにこの旅籠に売られてきた身でした。お牧さんがこの旅籠を出るには、その借金を返さねばなりません。船頭にはそのお金はありませんでした。そこで二人は駆け落ちすることにします。待ち合わせは人気の少ない「牧の野」(現在の町屋から南千住の間のあたり)と決めました。お牧さんは人目を避けるように牧の野へ行き、葎の葉で身を隠しながら恋しい人の来るのを待ち続けました。が、いくら待ってもお牧さんを見かねたお牧さんは、かといって故郷へも帰ることはできません。思いあまつたお牧さんは、夢遊病者のように歩き回って千住の河岸にたどりつきました。そして、心変わりをした男への怒りと悲しみを抱いて、荒川へ自らの身を沈めてしまいました。それからというもの、川越夜船が牧の野のあたりを通ると、その葎の葉から大蛇が出てきて、船の横腹にぶつかって転覆させるということが度々続きました。この話を聞いた千住宿の人達は、思いがかなわなかったお牧さんのためにちがいないと言いました。船頭達は、お牧さんを裏切った仲間を恥じて、お牧さんの故郷にお地蔵様をたてて、その冥福を祈ったということです。その後は、大蛇が出ることもなく、川越夜船は平穏な運航を続けることができたと言われています。

## すみだ川の大妖怪絵巻 その3 『牧の野の大蛇』(横の屋のおこ)

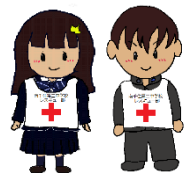


「牧の野」の大蛇



学校だより  
令和四年六月  
第127号  
荒川区立南千住第二中学校

# 実行する勇氣



ナンちゃん・ニーくん

校長 松田 公好



本校では毎年4月に、1年生を対象に『JRC(青少年赤十字)加盟登録式』を実施し、JRCから講師をお招きして赤十字活動への理解とJRCの一員としての自覚を促しています。そしてJRCの態度目標である「**気づき、考え、実行する**」を本校の教育活動に取り入れ、常にこれを意識した指導を心掛けています。

6月22日(水)の17時ころ、学校にお礼の電話が入りました。この日のお昼過ぎに**本校の女子生徒3名が、自分たちが困っているところを助けてくれた**とのこと。確認してみると次のような状況であったことがわかりました。

この日は1学期末考査初日、**3年生の〇〇〇〇さん(3組)、〇〇〇〇さん(3組)、〇〇〇〇さん(3組)**の3人は午前中にテストを受け、給食を食べて3人で下校するところでした。大通りにさしかかったところで、通りの向こうにぐったりして具合の悪そうな高齢の男性と、倒れそうなその男性を必死に支えている高齢の女性(二人はご夫婦と思われます)が目にとまりました。

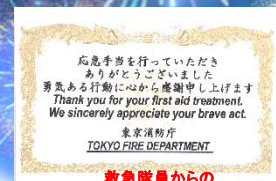
3人は迷うことなく急いで大通りを渡り、女性に「大丈夫ですか?」「何かお手伝いしましょうか?」と声を掛けました。3人は男性の様子から救急車の要請が必要であると考えましたが、5人とも携帯電話を持っていません。通りかかった女性にも声を掛けましたがその方も持っておらず、どうしようかと考えていると、近くのコンビニの店員さんが気づいて下さいました。店員さんはお店から救急車要請の電話をしてくださり、スポーツドリンクを持ってきてくださいました。

救急車を待つ間、男性を支え続ける女性を案じて1人がパイプ椅子を借りようと学校に走り、他の2人はその場に付き添って、スポーツドリンクを男性に飲ませたり、声をかけたりしていました。そしてしばらくして、救急車がきてくれたことを確認した3人は安堵して、借りたパイプ椅子を学校に返すためにその場を立ち去りました。

救急搬送の際、3人の代わりに現場を通りかかった**2年生の〇〇〇〇〇〇さん(3組)**らが救急隊員の方に状況を説明してくれ、救急隊員から託された「**対応への感謝のメッセージが入ったカード**」を3人の3年生に届けられました。

さてこのケースの場合、高齢の男女が困っていることに「**気づく**」人は多いはずですが、そして誰もがどうしようかと「**考える**」ます。しかし**声をかけて救助活動を『実行する』**にはある程度の「**勇氣**」と「**優しさ**」が必要です。「私(私たち)がやらなくても誰かがやるだろう」「面倒なことには関わりたくない」などの心理が働いてもおかしくありません。そういった考えに打ち勝ち、声をかけて行動に移せた3人(とコンビニの店員さん)に、**大きな拍手を送りたい**と思います。また、『レスキュー部の絆ネットワーク活動』をとおして日頃から地域のご高齢者とつながっていたことも、この行動を後押ししたのかもかもしれません。

本校の取り組みの成果を感じることでできる嬉しいニュースでしたので、6月27日の全校集会で校長講話として全校生徒に紹介しました。



救急隊員からの感謝のメッセージカード

## 2年生 下田移動教室

5月30日(月)から6月1日(水)までの2泊3日、2年生は下田移動教室に出かけました。出発式では、**実行委員の〇〇〇〇さん(3組)**が、「**下田移動教室の3日間をしっかりと楽しみ、成長しましょう**」とあいさつしました。3年ぶりに実行される下田移動教室を心から全員で楽しもうという気持ちがこめられた素晴らしいあいさつと谷山さんの堂々とした態度に、見送りに出ている他学年の先生からも大きな拍手が送られました。バスは静岡県にある**柿田川公園**に向かって出発。バスの中ではレク係が用意したゲームに盛り上がりました。柿田川公園では芝生広場で昼食をとり、その後富士山に降った雪や雨が長い歳月を経て地上に湧き出る美しい柿田川や展望台、散策路を見て回りました。バスで10分ほどの**河津七滝ハイキングコース**では、班ごとに滝巡りをしながらおよそ1時間のハイキングを楽しみました。ゴールのお茶屋ではおいしいソフトクリームをいただきました。夕方には全員が予定通りに学園に到着。入浴、食事のあとは、班に分かれて、**スケッチコンテスト**を開催。印象に残った景色や出会った動植物などを班で協力して色鮮やかな絵に仕上げました。

2日目のスタートは**下田海中水族館**から。イルカやアシカのショーを見たり、ダイバーによる魚のえさやりを見学したり、アザランに触れる体験などをしました。さくらの里で昼食後、午後からは、**大室山**へ向かい、リフトで山頂まで登り、クラス写真を撮影後班に分かれて火口周辺散策路を一周歩いて見学しました。この日は山頂付近の天候も穏やかで、およそ30分をかけてゆっくりと散策を楽しむことができました。**夜は学園で「きもだめし」のレク大会**を行いました。数人ごとのグループに分かれ、全館を暗くして、食堂からホール、渡り廊下、誰もいない1階の部屋を通して、学園の端にある**102号室**へ向かいました。明かりのない学園は何か潜んでいそうなムードたっぷり。レク係苦心の作の怪奇現象の数々に、悲鳴や助けを求める叫び声が館内に響き渡り、大盛り上がるのレク大会となりました。

最終日はまず**伊東マリンパーク**に立ち寄り、お土産を購入。そして**小田原城址公園**へ向かいました。目の前に佇む小田原城にみんな大興奮で、天守閣に上ったり、小田原城の甲冑や刀剣、絵図、歴史資料などが展示された歴史資料館などを班ごとに見学しました。

学校に到着後は、**実行委員長の〇〇〇〇さん(4組)**が、「**今回成長できたことをこれからの学校生活にいかしていきましょう**」とあいさつをしました。3日間を通して、楽しく素晴らしい思い出がたくさんできました。これからの2年生の成長が大いに期待されます。

## 3年生 修学旅行

# 修学旅行



6月8日(水)から10日(金)までの3日間、3年生は**2泊3日の修学旅行**に行ってきました。感染症予防対策のため清里移動教室も下田移動教室も中止となった3年生にとっては中学校生活最大にして最初で最後の宿泊行事です。およそ1ヶ月をかけて準備を重ね、この日を心待ちにしていました。南千住駅に早朝の6時半集合にもかかわらず、ほぼ全員が5分前には集合し、東京駅の地下集合場所を経由して、新幹線で新大阪駅へ向けて出発しました。修学旅行のスローガンは、「**2年分をここで〜The first and best trip〜**」です。これまでの思いの分、南千住第二中学校史上最高の修学旅行にしたいという願いが込められています。新幹線では、班ごとにいろいろなゲームを楽しむなど皆の笑顔が溢れました。

新大阪駅に到着すると、バスで奈良の**法隆寺**に移動し、クラスごとに**五重塔や金堂、宝物殿**などを急ぎ足で見学。その後バスで**東大寺**に向かい、クラスごとに**大仏殿**を見学後、班に分かれて予め決めていたコースに沿って、**猫段や二月堂、四月堂、南大門**などを見学したり、お土産を探したり、鹿と写真を撮るなど、思い思いに奈良公園を楽しみました。この日の宿泊は、中大兄皇子と中臣鎌足が天下について語り合ったことで名づけられた談山神社に隣接した「**多武峰観光ホテル**」。夕食は3種の肉と山の幸が楽しめる名物の**義経鍋**をいただきました。1日目の最後は「**漆器の加飾体験**」へ。初夏らしい花火や金魚、古都の雰囲気漂う寺社や手まりなど思い思いの図柄に真剣な眼差しで筆で一色ずつ入れて、思い出に残る素敵な作品を完成させました。翌朝、前日の市内散策で少しくたびれた靴が従業員の皆さんの手ですべてきれいに磨き上げられており、爽やかな気持ちで**タクシー**を利用した**京都の市内観光**に向かうことができました。行動班ごとに決めたコースで、**東寺、東福寺、伏見稲荷大社、金閣寺**、などを見て回りました。2日目の宿泊は、「**四季を育む宿・然林房**」。夕食は、大広間に全員が揃って、寄せ鍋や京都らしい小鉢をいただきました。翌日の朝食には和定食をいただき、ホテルの皆さんに感謝の言葉を伝え出発しました。

3日目はバスで移動して、**保津川**へ。山間の渓谷およそ16kmを嵐山まで船で下りました。両岸には巨岩・奇岩が点在し起伏に富んだ流れに、自然とスリルを満喫しました。その後、**嵐山市街**を班行動して周り、京都駅へ向かいました。解散式は、13日(月)の1時間目にアリーナを使って行いました。**実行委員長の〇〇〇〇さん(2組)**が「**最初で最後の修学旅行の思い出を大切に、ともにお互いを思いやり高め合う日々を送りましょう**」とあいさつをしました。最高の思い出ができ、この先の進路に向かってさらにひとまわり成長した3日間でした。



## 下田移動教室